

2024年度 学校関係者評価 報告書

【評価対象期間】

自:2023 年4月 1日

至:2024 年3月31日

学校法人大原学園
大原医療秘書福祉専門学校大宮校
大原こども専門学校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価委員会の実施状況

(1) 実施日時・場所

日時：2024年8月1日(木) 15:00～16:00

場所：大原医療秘書福祉専門学校大宮校5A教室

(2) 学校関係者評価委員

① 学外委員

氏名	団体企業名	役職等
金子 史人	社会福祉法人明日栄会 特別養護老人ホーム きりしき	施設長
榎原 智	医療法人若葉会 さいたま記念病院	事務部次長
大塚 弘美	社会福祉法人なないろ会 いちご桜保育園	園長
利根川 幸子	保育園アミ・クレイシュ	園長
清水 俊男	さいたま市大宮区宮町一丁目自治会	自治会長
高橋 弘幸	卒業生	—
樋口 正和	卒業生	—
加藤 碧	卒業生	—

② 学内委員(事務局)

氏名	団体企業名	役職等
杉田 義文	学校法人大原学園	校長
若井 浩美	学校法人大原学園	部長代理
苅屋 勝美	教務部医療課	課長
高橋 誠	教務部保育・福祉課	課長補佐
塚本 智久	教務部保育・福祉課	課長補佐

③ 配布資料

- ・2023年度 自己点検・評価報告書
- ・学校関係者評価委員会 会議資料

(3) 議題内容

2023年度の自己点検・評価報告書を基準に、特に提言頂きたい重点項目を「基準3：教育活動」「基準5：学生支援」「基準10：社会貢献・地域貢献」とし、学校関係者評価委員へ伝達した上で開催された。

2. 学校関係者評価委員会からの評価結果報告

(1) 基準1 教育理念・目標・育成人材像

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
理念・目的・ 育成人材像	1-1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	定めている
	1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	80%
	1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	80%
	1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	80%

② 委員からの提言

委員からの意見なし。

(2) 基準2 学校運営

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
運営方針	2-2-1 理念に沿った経営方針を定めているか	定めている
事業計画	2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	定めている
運営組織	2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	90%
	2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	90%
人事・給与制度	2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	80%
意思決定システム	2-6-1 意思決定システムを整備しているか	90%
情報システム	2-7-1 情報システム化に取り組み、業務効率化を図っているか	80%

② 委員からの提言

委員からの意見なし。

(3) 基準3 教育活動

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
目標の設定	3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	定めている
	3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育達成レベルを明確にしているか	明確にしている
教育方法・評価等	3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	80%
	3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか	70%
	3-9-3 キャリア教育を実施しているか	80%
	3-9-4 授業評価を実施しているか	70%
成績評価・単位認定等	3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	80%
	3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	80%
資格・免許の取得の指導体制	3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	80%
	3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	90%
教員・教員組織	3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	90%
	3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	80%
	3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	80%

② 委員からの提言

接遇、ビジネスマナーなどの対応やクレーム対応に対して外部研修を利用して職員向けの勉強会を導入している。専門的かつ効率的に研修が実施できるため、職員に対する研修としてはお勧めできる。

(4) 基準4 学修成果

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
就職率	4-13-1 就職率の向上が図られているか	90%
資格・免許の取得率	4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	80%
卒業生の社会的評価	4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	70%

② 委員からの提言

委員からの意見なし。

(5) 基準5 学生支援

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
就職等進路	5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	80%
中途退学への対応	5-17-1 退学率の低減が図られているか	60%
学生相談	5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	70%
	5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	70%
学生生活	5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	70%
	5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	90%
	5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	50%
	5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	70%
保護者との連携	5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	70%
卒業生・社会人	5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	70%
	5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	60%
	5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	70%

② 委員からの提言

- ストレスチェックを3か月に1度のペースで実施したり、相談窓口を設置したり、職員が悩みに対して声を上げやすい環境を作っている。また、心理カウンセラーや他部署の管理職、他の施設の園長など、話を聞きやすい状況を作っている。学生にも相談のしやすい環境づくりが重要である。
- 新人職員が業務上の困っていることを即相談できるようチューター制度を活用している。1対1であることから、新人状況を良く把握したうえでアドバイスができています。個別に状況確認とアドバイスができる環境づくりができると良い。

(6) 基準6 教育環境

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
施設・設備等	6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	80%
学外実習、インターンシップ等	6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	90%
防災・安全管理	6-24-1 防災に対する組織体制を整備し適切に運用しているか	70%
	6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	80%

② 委員からの提言

委員からの意見なし。

(7) 基準7 学生の募集と受入れ

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
学生募集活動	7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	80%
	7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	80%
入学選考	7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	80%
	7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	50%
学納金	7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	算定している
	7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	行っている

② 委員からの提言

委員からの意見なし。

(8) 基準8 財務

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
財務基盤	8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	安定している
	8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	行っている
予算・収支計画	8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	策定している
	8-29-2 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	行っている
監査	8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	実施している
財務情報の公開	8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	70%

② 委員からの提言

委員からの意見なし。

(9) 基準9 法令等の遵守

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
関係法令、設置基準等の遵守	9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	90%
個人情報保護	9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	80%
学校評価	9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	行っている
	9-34-2 自己評価結果を公表しているか	公表している
	9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価をしているか	行っている
	9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	公表している
教育情報の公開	9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	70%

② 委員からの提言

委員からの意見なし。

(10) 基準 10 社会貢献・地域貢献

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
社会貢献・地域貢献	10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	80%
	10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	50%
ボランティア活動	10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	70%

② 委員からの提言

- 今年度も町内会のお祭りに多くの大原生が参加してくれた。学校には事前の準備や調整など、大変な中での協力を感謝している。参加してくれた学生は挨拶などのマナーもしっかりしており、町内会としても非常に活気がでて、お祭りも大成功に終わり感謝している。今後も積極的に町内会の祭りやボランティアに参加するよう、指導してほしい。
- 徐々にボランティアの受け入れはコロナ前と同様になりつつある。中学や高校での職業体験も受け入れ始めているため、活用してほしい。ボランティアでも現場体験ができるため、施設実習だけではなく、ボランティアからも成長する機会を提供してほしい。

(11) 総評

教職員全員が一丸となって学校運営・教育活動に取り組んでいる。多くの卒業生が実社会で活躍していることは、社会的貢献の意味で非常に大きな役割を果たしている。修業年限の中で、社会で即戦力となる知識技能や社会性を向上させる教育を提供していると思われる。また、学生生活においては様々な場面で学生とコミュニケーションを図り、学生の長所や特性を踏まえた上での指導が素晴らしい教育成果を上げている原点となっていることが推察される。学習相談のみならず、日々の生活における悩みなども教員・保護者と共有解決し、教員と学生がより密接にかかわることにより学生生活の満足度を高める事に期待をしている。今後もオンラインシステムを効果的に活用しつつも、対面式教育を軸として、テーマを持って社会のニーズに対応した教育を継続して行うことが重要と考えられるため、重点課題の改善に向けた取り組みを反映させて欲しい。

学校関係者一同、今後も客観的な視点から様々な提言を投げかけることにより、大原医療秘書福祉専門学校大宮校並びに大原こども専門学校が、社会の信頼を益々得られるようにサポートして行きたい。

以上